

科目コード / Subject Code	AT501700
ナンバリング / Numbering	LA0TH1025-C
科目名 / Subject Name	地域防災学 (旧 )
英文科目名 / Subject English Name	Regional Disaster Prevention
担当教員 / Teacher Name	黒岩 正光, 太田 隆夫, 野口 竜也, 梶川 勇樹, 香川 敬生, 浅井 秀子
クラス / Class	
開講学期 / Semester	前期
対象学年 / Lectures Target	1, 2, 3, 4
開講時期 / Quarter	前期
講義室 / Room	共通教育棟C51講義室
科目区分 / Subject Classification	全学共通科目
曜日・時限 / Week・Hour	月 3
単位区分 / Unit Classification	選択
授業形態 / Lecture Form	一般講義
単位数 / Unit Count	2.0
準備事項 / Matter of Prepare	
備考 / Note	
担当教員所属・研究室 / Department/Center and Room	工学部・社会システム土木系学科 (工学部E棟 4階)・海岸工学研究室
オフィスアワー / Office Hours	○原則、メールやmanabaの掲示板等に対応します。 ○対面での対応希望の場合は、事前にメールにて連絡をしてください。日時の調整を行います。
担当教員への連絡方法 / Contact Details	メールにて対応 (kuroiwa@tottori-u.ac.jp)
授業の目的と概要 / Course Description and Outline	<p>目的 : 鳥取県における自然災害、少子高齢化、過疎化の問題を例として、防災、減災の基礎的事項を学ぶとともに、災害への備え、地域における防災・減災の在り方を学び、地域防災力の向上に市民として行動できる人材の育成を目的とする。</p> <p>概要 : 地域における防災力を高めるためには、地域住民ひとりひとりが防災に関心を持ち、日頃から災害に備え、発災時には、自ら率先して災害に対応する姿勢、実践できる人材育成が必要である。少子高齢化、過疎化の進んだ地域では多くの課題がある。本講義は、防災を専門とする教員、鳥取県において実際の防災に携わっておられる鳥取県、鳥取市など職員の方々によるオムニバス形式で実施する。講義では、鳥取県における自然災害、過疎化の進んだ地域に対する防災、減災の取り組みなど、また、災害への備えや災害時に必要な基礎的事項を紹介する。</p> <p>なお、この科目は、本学が地(知)の拠点整備事業(COC事業)の中で構成する、地域について学ぶ「地域志向科目」の1つになります。</p>
キーワード / Keywords	自然災害、防災、減災
到達目標 / Objectives	<p>防災に関する基礎知識の習得</p> <p>(1) 地震発生のメカニズムが説明できる。  (2) 津波発生のメカニズムが説明できる。  (3) 豪雨災害について説明できる。  (4) 自助・共助・公助の説明ができる。  (5) ハザードマップや避難に関する基礎的な説明ができる。  (6) 身近な防災対策ができる。</p>
他の科目との関連 / Prerequisite	入門レベルである。後期 地球科学(ジオパークと自然災害・防災の基礎)と関連が深く、将来防災士の資格に興味ある学生はこの科目の受講も勧める。
教科書(テキスト)・参考書 / Textbooks and Bibliography	資料はmanabaコースコンテンツにて公開、または講義時に配布します。
授業の形式 / Classwork	講義形式を主体として、本学教員と実際に防災に関する業務を実施されているの方々によってもオムニバスで講義を展開する。
成績の評価方法と基準 / Assessment	<p>以下に示す7つの課題を課し、総合100点満点で評価する。</p> <p>地震関連 : 2回, 津波関連 : 1回, 身近な防災 : 1回, 避難・避難情報に関する課題 : 1回  ハザードマップに関する小テスト : 1回 (各15点満点 合計90点)  総合課題 : 1回 (10点)</p>
担当教員からのメッセージ / Message from the Teacher	もしも津波が、地震が、「いつかその日はやってくる」に備えての防災の知識を少しでも身につけてもらい、防災意識の高い人になって、将来、社会、地域に貢献できる人になっていただきたい。内容満載ですので、しっかり講義を聞いてください。、

<p>授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） / The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.</p>	
<p>教育グランドデザインとの関連 / Educational Grand Design</p>	<p>本科目を受講して得られる知識や能力は、本学が教育グランドデザインで定める以下の「現代的教養」と「人間力」の要素に該当します。</p> <p>現代的教養（文化・社会・自然に関する幅広い知識） 人間力（自律性に基づく実行力） 人間力（多様な環境下での協働力）</p>
<p>ディプロマ・ポリシーとの関連 / Diploma Policy</p>	<p>本科目を受講して得られる知識や能力は、「卒業認定・学位授与の方針」に定める「能力」のうち、以下の項目に該当します。</p> <p>1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している。 2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる。 4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている。</p>
<p>実務経験 / Work experience</p>	<p>無</p>
<p>実務経験と授業科目の関係性 / Relationship between the work experience and the course</p>	<p>講義はオムニバス形式で実施します。全15回の内、4回 外部講師による講義を行ってまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳥取県職員による地域防災への取り組み、原子力防災、</li> <li>・ 鳥取県防災アドバイザーによる防災演習の実施（グループワーク、HUG：避難所運営ゲーム）</li> <li>・ ボランティア活動の実際など</li> </ul> <p>実務経験を活かした外部講師による講義を行います。</p>

授業計画詳細 / Course schedule

回 / Times	授業内容 / Course Contents	予習・復習内容 / Contents Of Preparation Review	備考 / Note
1	ガイダンスと講義の概要説明(担当者の紹介、講義の進め方、教科書、参考書、成績の評価方法など)、防災士の役割	防災士に関する予習と復習	担当：工学部 社会システム土木系学科 教授・黒岩正光
2	地域の自然災害に学ぶ(鳥取の自然災害史)	鳥取の自然災害に関する復習	担当：工学部 社会システム土木系学科 教授・香川敬生
3	鳥取県における地震災害	地震の発生メカニズムと鳥取における地震活動の復習	担当：工学部 社会システム土木系学科 准教授・野口竜也
4	高潮・津波・豪雨災害	水災害(高潮、津波、豪雨災害)事例の復習、津波の発生メカニズムの復習	担当：工学部 社会システム土木系学科 教授・黒岩正光
5	災害心理(東日本大震災、西日本豪雨災害などをととして)	災害時における3つのバイアスに関する復習、災害時の心理に関する復習	担当：工学部 社会システム土木系学科 教授・黒岩正光
6	身近な防災対策	自分できる防災対策の復習	担当：工学部 社会システム土木系学科 准教授・浅井秀子
7	防災情報とその伝達	災害発生時における情報に関する基礎知識の復習	担当：工学部 社会システム土木系学科 教授・太田隆夫
8	被害想定とハザードマップ	被害レベルとハザードマップの見方	担当：工学部 社会システム土木系学科 准教授・梶川勇樹
9	避難と避難行動	災害レベルと避難行動に関する復習	担当：工学部 社会システム土木系学科 教授・太田隆夫
10	山陰地方における原子力防災対策	原子力防災対策に関する復習	担当：鳥取県危機管理局
11	災害医療，地域医療の話し	災害医療に関する復習	担当：医学部器官制御外科学講座 教授・本間正人 救急・災害医学分野
12	行政の災害対応	自助・共助・公助、行政の対応に関する復習	担当：鳥取県危機管理局
13	災害とボランティア活動	ボランティア活動における心得、活動内容に関する復習	担当：社会福祉協議会
14	地域の自主防災活動(鳥取市を例として)	地域における防災活動、自主防災組織に関する復習	担当：鳥取市防災コーディネーター
15	防災演習(HUG)	HUGの方法に関する予習 避難所運営に関する復習	担当：工学部 社会シ防災コーディネーター(外部講師)
16	まとめ	これまでの講義を参考にまとめの課題を課す	担当：黒岩